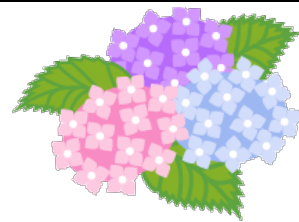




あじさい



平成29年5月号 校長 松島俊夫

4月19日(水)には、授業参観、PTA総会、学級懇談会がありましたが、多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

授業参観では、学年によっては親子で考える活動があり、子どもたちの嬉しそうな表情、意欲的な学習態度が心に残りました。やはり子どもの学



びには、保護者の皆様との連携が大切だということを再認識しました。今後とも、家庭学習や学習用具の準備などいろいろな面でお世話になり

ますが、ご協力お願いいたします。

こども読書週間

4/23～5/12がこども読書週間でした。今年、児童一人一人が読書や本に関する絵や文字で「しおり」を作成し、図書室前の壁に掲示し、しおりコンテストを実施しました。子どもたちの



好きな本の場面やキャラクターが色とりどり掲示され、全員がそれを見ながら気に入ったしおりに投票しました。票数上位のしおりは多数印刷し、「あじさいっ子のしおり」として、学年推薦図書読破達成者に配布する予定です。果たして誰の作成したしおりが選ばれるのでしょうか。楽しみです。

5月21日(日)は家庭読書の日

今年度は、毎月第3日曜日の「家庭の日」を「家庭読書の日」として、親子で読書することをお勧めしています。短時間でも結構ですから、テレビを消して読書に親しんでいただければと思います。



1年生を迎える会

5月8日(月)に1年生を迎える会を実施しました。

初めに1年生が一人ずつ「自己紹介」をしました。どの子どもも台に乗って堂々と話すことができました。



今年、ゲーム活動を中心に親睦を深めました。名刺交換ゲーム、南小いいところクイズ、貨物列車を行いました。1年生を交えて、全員が積極的に他学年の子とふれ合うことができました。



最後にあじさいっ子班のメッセージカードを貼った色紙を1年生にプレゼントしました。この日から新しくなったあじさいっ子班で清掃活動が始まりましたが、班長の6年生を中心に仲良く協力し合える班になってほしいと思います。

鉢花の贈呈式



今年度もとちぎ花センターから各クラス2鉢ずつ花をいただくことになりました。今回はデンドロビウムとペラルゴニウムです。花センターの方から花の世話の仕方を詳しく教わりました。花の水や



りや花がら摘みなどを通して花に親しみをもち、生命を大切に育つといいなと思っています。

小野寺南小学校のおかし



「はてなの心」を大切にしようと始業式に児童に話しましたが、今月は南小の昔の様子をスライドで見せながら

クイズ形式で説明しました。

Q1:小野寺南小学校は何年前にできたか?

A: 123年前です。明治27年(1894年)に「小野寺尋常高等小学校」として創設されました。最初の卒業生は、卒業生名簿によると「男21人・女2人計23人」でした。

Q2:昔の南小は校舎がいくつあったか?

A: 3つです。上の写真のように3段になっていました。下の校舎には、職員室や1・2・3年生の教室がありました。中の校舎には、4・5・6年生の教室がありました。上の校舎には、音楽室や卒業式など行事で使う広い部屋があったそうです。

Q3:あじさい目標は何年前にできたか?

A: 46年前(昭和46年)です。子どもたちと先生と一緒に考えて作ったそうです。



Q4:南小の今の校舎は何年前にできたか?

A: 29年前(昭和63年)です。昔、校庭だった所を広くして造りました。ちなみに今のプールができたのは、24年前(平成5年)です。昔プールだった所は、今、土を入れて学校農園になっています。

Q5:23年前の南小の全校児童数は何人か?

A: 23年前(平成6年)に創立100周年記念式典を実施しました。当時、約200人いました。今年度は74人なので、随分減りましたね。

南小は、今年で123年目です。保護者の皆さんにとっても愛着のある母校だと思います。お子さんに本校のよさを伝えて下さい。伝統ある南小がさらに発展するよう力添えをお願いします。

岩舟ブロック小中一貫教育の取組

岩舟ブロックでは、昨年度、次のように「目指す子ども像」を設定しました。

理想を掲げ、自分らしく、
たくましく未来を切り拓く15才
～自立と共生、自己実現のために～

そして、今年度の重点目標を、
知識や技能を身につけ、それらを活用して
課題を解決しようと学び続ける15才
と学力面を重視して設定しました。

今後、上記の子ども像実現のために専門部会(学力向上部会・心の教育部会・健康安全部会)で具体策を検討し、実践していきます。

本校では、まず、心の教育部会の提案を受けて、1学期のテーマを「自らあいさつする子どもの育成」とし、下記のような目標を立てました。

正しい言葉遣いで、礼儀正しくあいさつしよう
低学年 相手に聞こえるように、大きな声であいさつしよう
中学年 廊下ですれ違った人に自分から進んであいさつしよう
高学年 廊下ですれ違った人に、会釈してあいさつしよう

具体策として、下記の3点について取り組んでいます。

①朝、教室に入る時、友達や先生にあいさつをする。②進んで感謝の気持ちを伝える。③授業では正しい言葉遣いで終わりまできちんと話す。



ご家庭でも挨拶への意識付けをお願いします。

栃木市コミュニティスクール (学校運営協議会)

「地域でどのような子どもを育てたいのか」「そのためにはどのような課題を解決しなければならないのか」という目標やビジョンを学校と保護者や地域住民が共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」に転換します。学校運営協議会の権限・機能としては、

① 校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること② 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること③ 学校・家庭・地域の連携が促進されるように協議することの3点が挙げられます。今年度の委員を紹介します。(敬称略) よろしくをお願いします。

会長：野村馨子 副会長：横山雅信
委員：清水一夫 小林真智子 田島典子
青木伸幸 松島俊夫